



～ サッカー日本組織について ～

4年に一度のワールドカップサッカーが行われておりますが、日本はなんとか決勝トーナメントに進出しました。大方の予想では、そんなに振るわないのではないかと思われていた西野ジャパン、それが初戦コロンビアに2-1で勝利、歓喜と驚きは日本のみならず世界からも多く聞かれました。次戦はセネガルに2-2の同点、しかも先制されて落いつき、さらに点を入れられて追いつくという粘りについて賞賛されました。最終戦は0-1でポーランドに敗戦しましたが、その戦いぶりに?もありましたが、西野監督は決勝トーナメントへの進出に執念を燃やしその戦略の結果であると思います。

今回この日本のサッカーの結果を見て、監督やトップによって組織はこんなにも変わると、活性化することを目の当たりにした思いです。

大会直前2ヶ月前にハリルホジッチ監督の解任が発表になり、その後西野監督が就任したわけですが、準備期間わずかでこの結果を残せたことは素晴らしいと思います。そのチームのプレイヤーの持つ力を100%發揮させられるか否かは、監督やコーチの力が大きく、特にサッカーは11人という組織や戦略がモノを言うのだと思いました。実はこの監督の解任交代を決断した人が一番の貢献者かもしれませんね。我が社の組織も西野ジャパン見習って頑張らねば・・・と思った次第でした(^_)/

木を見て森を見ず

当社サッパ沢地区で採掘地の拡大を計画している部分の植生調査を実施しました。調査は岩手県植物誌調査会会員で八幡平市在住の八幡先生にお願いして、サッパ沢地区上流部を踏査していただきました。

結果はレッドデータブックに載るような希少な植物はなかったのですが、普段「森ばかり見て木を見ていないかった」ことに気づかされ、あらためて「森の中にはいろいろな木がある」ことがわかりました。ご高齢にもかかわらず現場でご教授いただいた八幡先生に感謝申し上げます。

歓迎会

我が社では入社して2ヶ月が経過すると歓迎会をします。ということで4月入社した鳥居さんと白谷さんの歓迎焼肉パーティーを開催しました。当日は気温も上がり、修理作業日と重なり、冷えたビールの美味しい日でしたが、主役の一人、鳥居さんが運転して帰らなければならず、ちょっと欲求不満だったかもしれません。これからも一緒に汗をかい、また美味しいビールを飲みましょう！

新入社員紹介

6月から石材部へ何年ぶりかに新入社員を迎えました。泉山裕さん29歳です。

経験と勘、美的センスが問われる職種ですが、立派な石工職人めざして頑張ってください。



安全週間始まる

6月 いわて県北安全衛生大会（工藤健太郎標語入選）

7月
火薬パトロール
危険物安全大会
採石工業組合安全大会
採石災害防止パトロール
採石工場組合危険作業体験研修会
(はさまれ、感電等体験)



7月は全国安全週間で、各団体のパトロール等行事が開催されます。日頃気が付かないところや、気が付いても時間に追われ手が付けられない不安箇所の改善に取り組みましょう。さらに、いつの間にか元に戻ることがないよう、安全や環境に意識する習慣を付けましょう。自分の周りをきれいにしましょう。

～ 生産性向上 ～



働き方改革法案が成立した。週40時間労働制になったときくらいの変革である。現状維持ではコストが上がることは明らかである。何とかしたい。と思い、メーカーの協力を得て破碎機の生産能力調査を実施した。単位時間当たりやエネルギー原単位当たりを尺度にして、運転条件を最適化することで2~3割生産能力が向上すればしめたもの。と思っていたが、甘くはなかった。碎石業のローテク性を知った。やはりそれなりの設備投資が必要なのだ。ムーアの法則 ($P = 2^n / 1.5$ P=倍率 n=年) という法則がある。コンピュータの処理速度は加速度的に向上するというのである。それによると30年後にはシンギュラリティ(特異点)に達し、人工が人間を越えてしまうというのだ。にわかに信じがたいことであるが、(最近は進化速度が鈍化しているようだ) 先端ではA.I.が人間を凌駕している分野もある。山の中にいると、そんな早い進化は来なくていいのにと思う反面、こうしたい、ああしたいと身勝手に考えてしまう。平成もあと1年足らず、いっそのことローテクで働き方改革を乗り切れないものかと開き直るのである。



30年で100万倍

2018年 脳を超える

編集後記

ここ2、3年の間に社員が5人ほど入社しました。みんなそれぞれの部署で頑張ってお仕事しています。若い人が入社てきて3年前より平均年齢が6歳ほど若返り、すっかり平均年齢より上回ってしまった私(泣)ですが、若い人に負けないと見本となって、ちゃんと託すことをいかないといけませんね。



発行

